

一般質問通告書（一覧） 6月議会

平成28年6月14日～22日

番号	件名	氏名
1	再度、町の防災対策について問う	山戸 貞夫
2	貴重な地域文化の保存・継承について	清水 敏保
3	保健・福祉に関わる施策について	清水 敏保
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

3件 2人

定例会一般質問通告書（要旨）

平成28年第2回上関町議会定例会（6月）

◆質問者1 山戸議員	
質問事項	質問要旨
1. 再度、町の防災対策について問う	町の防災対策については、地域防災計画の策定、および災害時要援護者台帳の作成等、施策としては基本的に成り立っているが、多発する大規模な地震、今後予期される災害から、いかに被害を少なく食い止めるかが重要である。高齢者、社会的弱者に伝わりやすい形で普段から、よりよい防災の取り組みを進めていただきたい。また、防災体制を相対的に指揮する拠点である上関町役場は、町の心臓部でありながら、庁舎が老朽化し災害に対する脆弱性は認めざるを得ない。建て替えの具体化を進めていただき、取り組みの進捗状況をお尋ねする。

◆質問者2 清水議員	
質問事項	質問要旨
1. 貴重な地域文化の保存・継承について	上関町では、朝鮮通信使のユネスコ記憶遺産登録に向けて取り組んでおり、県の無形民俗文化財に指定されている祝島の神舞神事や上関地区の神明祭が盛大に行われているが、地域によっては人口減少や高齢化等により伝統・文化や祭りの保存・継承が難しくなりつつある。今後は文化拠点としての総合文化センターを最大限に活用し、町全体で地域の伝統文化の保存・伝承に関わって行く必要があるのではないか。町の見解を求める。
2. 保健・福祉に関わる施策について	本町では居宅サービスより、施設サービス利用者が増える傾向が強まり、介護給付費が増えてきていると聞いている。地域で要援護高齢者を支え、住み慣れた地域で生活を続けていくには、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムや活力ある高齢化社会を作ることとなる。当然、行政による指導・支援が必要となり、地域と行政が連携しなければ前に進まない。本町の保健福祉を担う組織や人材の確保などの体制づくりについて現状をお尋ねする。